

佐世保工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	日本語
科目基礎情報						
科目番号	0083		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電気電子工学科		対象学年	4		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	「時代を読み解く上級日本語（第3版）」					
担当教員	有瀬 尚子					
到達目標						
1. 中級後期～上級段階の文型・語句を習得する。(B-1) 2. 長文（新聞記事等）の内容を的確に把握できるようになる。（速読を含む）(B-1) 3. 長文の内容について教師の質問に答えられるようになる。(B-1) 4. 長文の内容に関連して自分の考えが記述できるようになる。(B-1) 5. 長文の内容を自国の状況と比較して説明できるようになる。(B-1)						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1(達成目標1)	本文中の文型・語句を使って、自由に短作文できる。		本文中の文型・語句を使って、似た文章を作ることができる。		本文中の文型・語句を使って、自由に短作文できない。	
評価項目2(達成目標2, 3)	本文の内容を的確に把握し、教師の質問にキーワードを使って答えることができる。		本文の内容を把握し、教師の質問の箇所を理解し、答えることができる。		本文の内容をが分からず、教師の質問に答えることができない。	
評価項目3(達成目標4, 5)	本文の内容を自国の状況と比較して説明でき、それを長文にまとめることができる。		本文の内容を自国の状況と比較して質疑応答でき、それを長文にまとめることができる。		本文の内容を自国の状況と比較して質疑応答でき、それを長文にまとめることができない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 B-1 JABEE a						
教育方法等						
概要	日本社会の現状について書かれた文章を題材として、日本語の語句の意味・用法を学習するとともに、読解力・発話力・作文力の向上を図る。					
授業の進め方・方法	予備知識：日本語中級前期までの文型・語句の知識 講義室： 授業形式：演習形式 学生が用意するもの：辞書、ノート、テキスト					
注意点	評価方法：宿題、授業態度、中間（前期および後期）・期末試験（前期および後期）、レポート(B-1)等で総合的に評価し、60点以上を合格とする。 自己学習の指針：テキストを中心として毎回授業の予習・復習に取り組み、積極的に質問してください。					
授業の属性・履修上の区分						
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション・2課		新しい結婚の形を考える	
		2週	2課 遠距離結婚		〃	
		3週	4課 社内結婚、企業が後押し		企業の働きやすい環境づくりの取り組みについて知る。	
		4週	〃		〃	
		5週	9課 ノーマライゼーションの地域を作る		地域再生について考える	
		6週	〃		〃	
		7週	文学作品(1)		短編作品を一つ読み、日本理解を深める。	
		8週	文学作品(2)		〃	
	2ndQ	9週	1 3課 「主権者教育」		主権者教育の意義と課題について考える。	
		10週	〃		〃	
		11週	1 4課 日本型雇用システム(1)		母国と日本の「雇用契約」について考える。	
		12週	〃		〃	
		13週	1 5課 日本型雇用システム(2)		母国と日本の「賃金制度」について考える。	
		14週	〃		〃	
		15週	期末試験			
		16週				
後期	3rdQ	1週	8課 離れて暮らす親の見守り		高齢者を見守るための様々な取り組みについて知る。	
		2週	〃		〃	
		3週	1 8課 なぜコミュニケーション能力か		新卒一括採用でコミュニケーション能力が重視されがちな背景と課題について知る。	
		4週	〃		〃	
		5週	2 1課 A I は人間の仕事を奪うのか		人間にしかできない仕事とは何なのか、考える。	
		6週	〃		〃	
		7週	文学作品		短編作品を一つ読み、日本理解を深める。	
		8週	中間試験		〃	

	4thQ	9週	2 2 課 「ビッグデータ社会」	ビッグデータ解析の可能性と課題について考える。
		10週	〃	〃
		11週	2 3 課 本当に「原発は安い」のか	原発に頼り続けることに理はあるのか、考える。
		12週	〃	〃
		13週	2 6 課 人間のおごり	東日本大震災時から今までの科学に対する認識の変化をまとめる。
		14週	総合練習	復習
		15週	期末試験	
		16週		

評価割合					
	授業態度	中間・期末試験	小テスト等	小テスト・レポート・宿題等	合計
総合評価割合	40	80	20	60	200
中間評価割合	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	40	20	0	60
分野横断的能力	20	0	0	0	20
期末評価割合	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	40	0	60	100
分野横断的能力	20	0	0	0	20